

# 雑 報

## 定例研究報告会の開催

(昭和48年7月～9月)

〈回〉	〈年月日〉	〈報告題名〉	〈報告者〉
7	昭48. 7. 4	ライフ・サイクルからみた女子労働	中野 英子 技官
8	昭48. 7. 11	2人までまたは3人までに出生を制限した場合の将来推計人口について	岡崎 陽一 技官
9	昭48. 7. 18	母の年齢別暦年出生統計のコーホートの編成の一方法	小林 和正 技官
10	昭48. 7. 25	昭和45年日本人男子の簡速労働力生命表	金子 武治 技官
11	昭48. 8. 1	人口政策と四つの国際会議	黒田 俊夫 技官
12	昭48. 8. 8	アジア諸国の男子労働力生命表——若干の国についての試算——	山口 喜一 技官
13	昭48. 9. 5	優生保護法の改正について	室 三郎 事務官
14	昭48. 9. 12	「高年齢者世帯」の構造と人口流出についての予備的考察——島根県一農村の事例分析——	清水 浩昭 技官
15	昭48. 9. 19	東京湾埋立開発に伴う漁村解体と人口移動——千葉県浦安町——	若林 敬子 技官
16	昭48. 9. 26	昭和47年第6次出産力調査報告(その4) 生涯出生児数	青木 尚雄 技官

## 資 料 の 刊 行

(昭和48年7月～9月)

〈資料題名(発行年月日)〉	〈担当・協力者〉
○人口問題についてのおもな数学 第23号(昭和48年7月版)	金子 武治 技官
○人口問題研究所定例研究報告会報告要旨集 第11号 昭和47年度(昭和48年9月)	山口 喜一 技官 山本 道子 技官

## 日 本 統 計 学 会 第 41 回 大 会

昭和48年度の日本統計学会(会長・松下嘉米男)総会ならびに研究報告会は、7月20日(金)、21日(土)の両日にわたり、川崎医科大学(岡山県倉敷市)において開催された。本研究所からは上田正夫(所長)、岡崎陽一(人口移動部移動科長)、山口喜一(資料課長)の3技官が出席した。

本年度の研究報告会においては、三つの共通テーマ(医学と統計、統計教育および人口移動)が取り上げられ、活発な討論が行なわれた。とくにわれわれの関心と呼ぶ「人口移動」に関する報告は次の4題であっ

た(座長：成蹊大・朝倉孝吉)。

- 1) 最近における地域人口移動……………藤 崎 陽 一 (人 口 研)
  - 2) 最近における人口再生産構造の地域的変動……………山 口 喜 一 (人 口 研)
  - 3) 高度成長と人口移動……………栗 原 源 太 (中 央 大)
  - 4) 過去日本の人口移動……………臼井竹次郎・方波見重兵衛・金子功 (公衆衛生院)
- 討 論……………西川俊作・井原哲夫 (慶 応 大)

また一般講演は、予定されたプログラムにおいては36題であったが、そのなかからも人口に関連のある報告をあげてみると次のようである。

- シミュレーションによる都市人口順位法則の発生機構の解析……………鈴木啓祐 (流通経大)
- 韓国都市の人口流入分析及び予測……………具 滋 興 (韓国・東国大)
- 2つのCOHORT間の高齢における「死因」別死亡数の比較的研究……………飯 淵 康 雄 (東医歯大)
- Life cycle saving の統計モデルについて……………高木尚文・堀恒一 (成 城 大)
- なお、共通テーマ「医学と統計」における報告のうちからも、  
今日的意味での衛生統計指標について……………飯 淵 康 雄 (東医歯大)
- をあげておきたい。

(山口喜一記)

## 国 際 人 口 学 会 総 会

国際人口学会総会 (General Assembly of the International Union for the Scientific Study of Population) が、1973年8月27日から9月1日までベルギーのリエージュで開催された。

参加者は約730名で盛況であったが、日本から参加したのはわずかに2名(本研究所からの黒田技官と国立公衆衛生院の村松稔技官)であった。もっとも日本人としては、国連本部人口部の河野稔果氏とカイロの国連人口研究訓練センターの河辺宏氏が参加し、合計4名であった。

今回の総会の特徴は、(1)1974年の国連世界人口会議を考慮していること、(2)人口政策が重要な議題となってきたこと、(3)人口政策に関連して人口移動、人口分布を中心とした都市化、巨大都市の問題が注目をひいたこと、(4)人口学の教育、訓練といった基本的な研究課題が現われてきたこと、(5)3個の plenary meetings と課題別の9個の session meetings のほかに、多数の side meetings と informal meetings があったことである。

今回の総会のプログラムを参考のために示すと次のごとくである。

### SCIENTIFIC PROGRAMME

The scientific programme of the Conference will consist of 3 plenary meetings and 9 specialized sessions. In addition, there will be several informal meetings designed to deal with specialized topics and intended for a smaller audience.

During the Conference, a meeting room will be put at the disposal of participants wishing to hold informal meetings outside the official programme.

List of sessions, meetings and names of organizers and chairmen:

#### *PLENARY MEETINGS*

##### 1. Population and Employment

#### *Organizer*

L. Emmerij  
(Netherlands)

#### *Chairman*

A. Sauvy  
(France)